

2/14(月)「2021年度3Q決算および通期予想 IR 電話会議」説明要旨

グループ CFO の湯浅でございます。

皆さま、本日はお忙しいところ、また遅い時間にも関わらず、弊社の決算電話会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日、当社は、「第3四半期決算」に加えまして、「通期業績予想の見直し」につきましても、公表しておりますので、その内容につきまして、私からご説明させていただきます。

早速ですが、資料の3ページをお開きください。

【Key Messages】

- 今回、特にお伝えしたいポイントを2点、まとめています。
- 1点目は、第3四半期実績は「非常に強い」ということです。
第3四半期の修正純利益は「4,729億円」。昨年11月に公表しました通期予想対比、96.5%の進捗率となっており、「足元の基調は好調」、と申し上げてよろしいかと思います。
- そして、2点目は、「強い第3四半期実績」、そして「足元の好調な基調」を踏まえまして、「通期予想を引上げる」ということです。
具体的には、修正純利益の通期予想を、昨年11月公表の4,900億円から+700億円上方修正し、5,600億円といたします。
- それでは、これらのポイントを、もう少し詳しくご説明したいと思いますので、4ページをご覧ください。

【トップライン】

- まず、トップラインです。
- 第3四半期の実績は、為替の影響を除いたベースで、「正味収入保険料」が前年同期比+4.9%の増収、「生命保険料」は+0.5%の増収となりました。いずれも、通期予想に対して、順調に推移しており、基調は「良好」です。
- その中で、今般、海外の基調を踏まえまして、「正味収入保険料」の通期予想を、前年度対比+4.2%の増収に引き上げます。
- 次に、修正純利益についてご説明しますので、5ページをお開きください。

【修正純利益 3Q 実績の評価】

- 「第3四半期の実績が好調であること」は、先程ご説明の通りですが、牽引しているのは、東京海上日動と海外です。
- 具体的には、東京海上日動では、好調なトップラインに加えまして、発生保険金が11月予想対比で大きく下振れています。これは、「自然災害や主として火災保険の大口事故が平年よりも少ないこと」、「コロナによる交通量の減少で、自動車保険の損害率が抑えられていること」が原因です。
この結果、第3四半期の進捗率は「106.5%」と、既に通期予想を上回っています。

- また海外も、保険引受・資産運用いずれも好調で、第 3 四半期の進捗率は **92.4%**と、やはり高い進捗率となっています。
- 続きまして、これらを踏まえました、「通期業績予想の見直し」についてご説明しますので、**6 ページ**をご覧ください。

【通期業績予想の上方修正】

- 「修正純利益の通期予想を、**+700 億円**上方修正しましたこと」は、先程ご説明の通りですが、修正のポイントにつき、ご説明いたします。
- 先ず、東京海上日動で**+200 億円**、上方修正していますが、これは、「自然災害予算を税前で **150 億円**リリースし、年間 **400 億円**としたこと」、「直近の実績を踏まえ、既経過保険料を見直したこと」によるものです。
- 次に、海外で**+450 億円**上方修正していますが、これは海外は **12 月末決算**ですので、分かる範囲でこの内容を反映したものです。中身につきましては、スライドにも記載していますが、「自然災害の下振れを含めた好調な保険引受」に加え、「資産運用におきましても、キャピタル・インカム共に強かったということ」、「為替も円安となったこと」によるものです。
- そして、「その他」でも**+50 億円**上方修正していますが、これは政策株式の売却額を**+100 億円**引き上げたことによるものです。
- これらを踏まえました、出来上がりの修正純利益は **5,600 億円**となりますが、皆さまのご関心は、**2022 年度**予想のベースとなる、実力値にもあるかと理解しております。
- この点ですが、**5,600 億円**には、一過性の「自然災害の減少」や「北米拠点のキャピタル・ゲイン」が、それぞれ約 **200 億円**、合計 **400 億円**含まれています。
この他、精緻に計算はしていませんが、コロナ影響による損害率の低下などが **100 億円**程度あることに加え、政策株式の売却額も計画を上回る金額となっています。
- その中での、経営としての実力値の認識ですが、「**5,000 億円**を突破する見込みである」ということを申し上げておきたいと思えます。

【資本政策】

- 最後に、資料はありませんが、資本政策について、若干コメントさせていただきます。
- 当社は昨年 **12 月**に、**400 億円**の自己株取得をリリースし、**1 月末**までに **200 億円**を取得しました。**2021 年度**の累計取得額は **800 億円**となります。
- その中で、足元の当社株価は **7,000 円**を超え、時価総額は約 **5 兆円**となっている訳ですが、経営としましては、本日もご説明しました当社実力から考えると、足元株価は、まだ割安だと考えています。
- 従いまして、残りの自己株取得枠 **200 億円**につきましても、勿論、機動的に判断して、実行していくつもりですし、今後も当社は、「経営戦略・事業戦略の着実な実行」と、「規律ある資本政策の実行」を通じて、利益も **ROE**も拡大していくつもりです。
- 引続き、資本市場の皆様のご期待にお応えしていきたい、その様に考えておりますので、ご支援の程、よろしく願いいたします。
- 私からのご説明は以上です。

以上